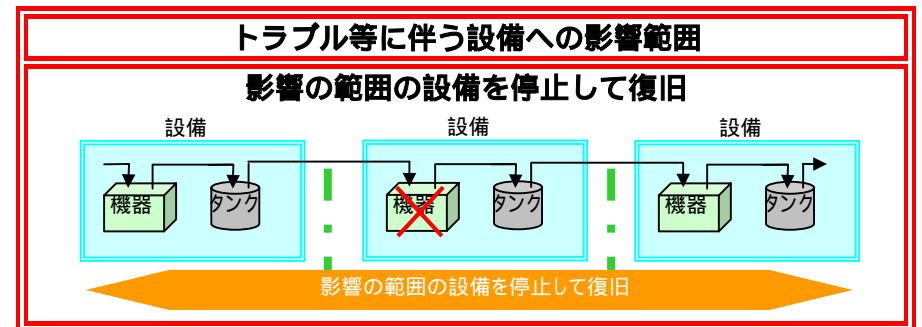
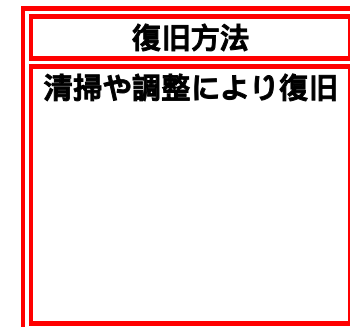
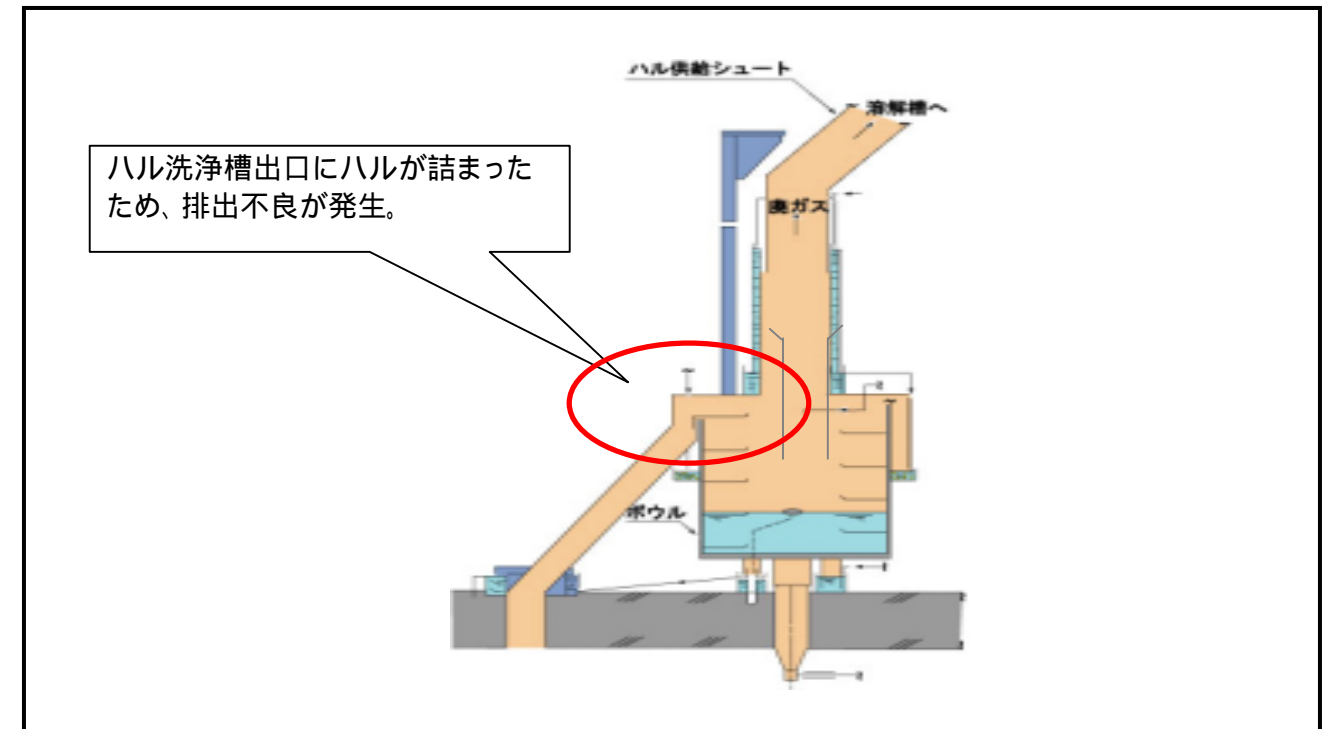
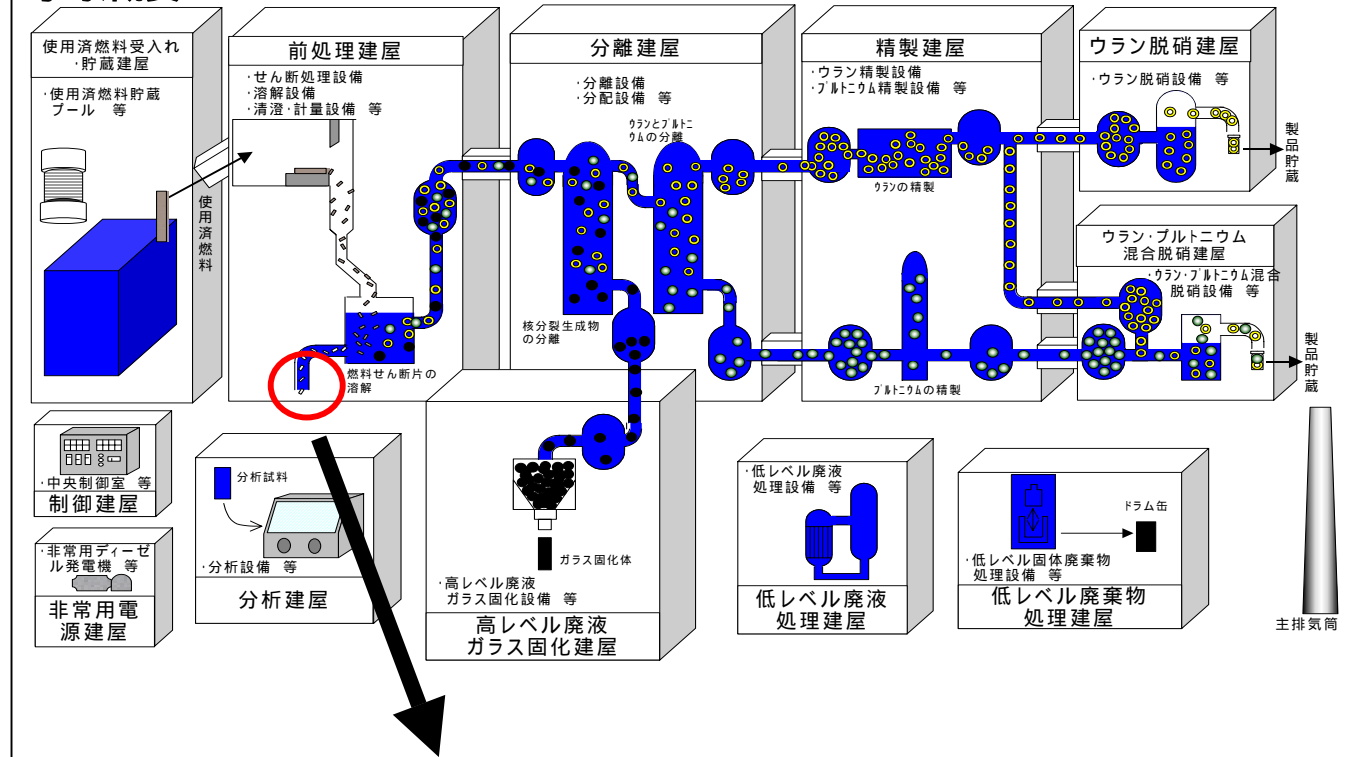


再処理工場で発生が予想されるトラブル等とその対応

(No.1-37)

件名	ハル洗浄槽の詰まり												
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: ハル洗浄槽</p> <p>(2) 設備の概要 燃料せん断片を溶解槽で溶解した際に、硝酸に溶解されずに残る金属片(燃料被覆管)を、廃棄物として容器に詰める前に水を用いて洗浄する設備。</p> <p>(3) 発生の状況 ハル洗浄槽の運転中</p> <p>(4) 概要 ハル洗浄槽出口に、長い燃料せん断片又は燃料の構成部品のスプリングが引っ掛り、出口を塞いでしまったことによりハル洗浄槽の詰まり事象が発生。</p> <p>(5) 原因 運転を継続することで発生する詰まり(予め対応手順を定めている)</p>												
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する前処理建屋建屋換気設備が稼動しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。なお、本事象は放射性物質の漏えいを伴うものではない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 ハル洗浄槽の停止に伴い、上流の機器を停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は発生しない ハル洗浄槽の復旧作業は、全てセル内での遠隔保守作業であり、放射性物質を直接扱わないため、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 上流、下流の工程の運転に影響が生じる。 堆積したハルの除去作業によるハル洗浄槽の停止に伴い、せん断機、溶解槽等の運転に影響が生じる。さらに、下流の分離建屋以降の工程は、その中間にある一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>												
対応の概要	<p>(1) 閉塞原因になったハル又はスプリングを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って閉塞原因となったハル又はスプリングを除去し、ハル洗浄槽内部に溜まったハルを排出する。</p> <p>(3) 定められた操作手順に従って運転を再開する。</p>												
公表区分*1	毎月集約して月1回公表(ホームページ掲載)												
情報区分*1	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">トラブル情報</th> <th colspan="3">運転情報</th> </tr> <tr> <td>A情報</td> <td>B情報</td> <td>C情報</td> <td>ごく軽度な機器故障</td> <td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td> <td>不適合等</td> </tr> </table>	トラブル情報			運転情報			A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報										
A情報	B情報	C情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等								

事象概要



*1 「A情報」:安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、「B情報」:事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、「C情報」:A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象